

小山実稚恵が愛してやまないショパンの協奏曲。ピアノの美しい音色で新年を祝う。

YMFG

もみじニューイヤークンサート

YMFG MOMIJI 2016 New Year Concert

モーツァルト

歌劇「フィガロの結婚」K.492 序曲

交響曲第41番 ハ長調 K.551「ジュピター」

ショパン

ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 Op.11

©ND CHOW



2016年

1月9日(土)

15:00開演 (14:30開場)

広島文化学園HBGホール

(広島市文化交流会館)

2011年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝
世界が熱い視線をおくる日本人指揮者

指揮 **垣内 悠希**

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト

ピアノ **小山 実稚恵**

中・四国唯一の常設プロオーケストラ

広島交響楽団

©Jean Philippe Raibaud

料金
[全席指定]

〈前売り〉 〈当日〉
S席— 3,500円 / 4,000円

〈前売り〉 〈当日〉
A席— 3,000円 / 3,500円

〈前売り〉 〈当日〉
B席— 2,500円 / 3,000円

学生券(B席)— 1,000円
〈当日販売のみ、要学生証〉

チケット販売所

- ◎エディオン広島本店プレイガイド [TEL:082-247-5111]
- ◎福屋八丁堀本店プレイガイド [TEL:082-246-6911]
- ◎福屋広島駅前店チケットサロン [TEL:082-568-3942]
- ◎中国新聞社読者広報部 [TEL:082-236-2455]
- ◎中国新聞販売所 (取り寄せ)
- ◎ローソンチケット (Lコード 63361) ◎電子チケットぴあ (Pコード 277-349)

主催=もみじ銀行・中国新聞社
お問い合わせ=もみじ銀行広報室 TEL:082-241-3043

※就学前のお子さまの同伴はご遠慮ください。
※やむをえない事情により、曲目が変更になる場合がございます。

YMFG もみじニューイヤーコンサート YMFG MOMIJI 2016 New Year Concert



指揮 垣内 悠希

Yuki Kakiuchi, conductor

©Jean Philippe Raibaud

2011年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。現在、その将来が最も囑望される指揮者の一人である。2012年4月東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会を指揮し東京デビュー。ブラームス交響曲第2番では、「鋭敏な色彩感覚の反映された名演」と評された。ウィーンを拠点に、フランス国立ポルドー=アキテーヌ管弦楽団、イル・ド・フランス国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンスター交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、チリ交響楽団等、国内でも東京都交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団等にも客演。2013年1月にはミュンスター歌劇場でオペラ・デビュー。3月には、小澤征爾氏の強い推挙を受けて小澤征爾音楽塾オーケストラを指揮して好評を博した。1978年東京生まれ。6歳よりピアノを始め、14歳より指揮の勉強を始める。これまでに小澤征爾、佐藤功太郎、レオポルド・ハーガー、ヨルマ・パヌラ、ジャンルイジ・ジェルメッティ、エルヴィン・アッツェル、イザーク・カラブチェフスキー、湯浅勇治の各氏に師事。2001年東京藝術大学楽理科を、2009年ウィーン国立音楽大学指揮科を首席で卒業。次いで2011年同音大劇場音楽科特別課程を修了。ウィーン在住。

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。2015年デビュー30周年を迎える。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、コンチェルト、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し続けている。

2015年は30周年記念公演として、東京における2回の協奏曲演奏会(4月18日大野和士指揮、東京都交響楽団、11月5日広上淳一指揮、NHK交響楽団)を行うほか、日本各地で記念演奏会を行う。3月にはチャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラとモスクワの定期公演で共演した。

Bunkamuraオーチャードホールにて行われている春・秋年2回、2006年～2017年の壮大なプロジェクト「12年間・24回リサイタル・シリーズ」は、現在全国6都市(東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、福岡)において進行中。

また、ショパン生誕200年にあたる2010年のショパン国際ピアノコンクールを始め、チャイコフスキー、ロン=ティボー、ミュンヘンなどのコンクールでは審査員を務める。

2011年の東日本大震災以降、東北出身ということもあり「被災地に生の音を届けたい」との強い思いで、岩手、宮城、福島の被災地の学校や公共施設等で演奏を行っている。さらに、小山が企画立案し、ゼネラル・プロデューサーを務める『こどもの夢ひろば“ポレロ”～つながる・集まる・羽ばたく～』と題した永続的なプロジェクトが、仙台において2015年よりスタート。この企画は、被災地の子供たちに夢を持って欲しいという小山の念願が実現したもので、被災地活動の一環として、小山のライフワークでもある。

CDは、ソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結ぶ。2015年4月に28枚目の新譜『シューベルト：即興曲集』をリリース。前作『ヴォカリーズ』、『シャコンヌ』に続き、3作連続で「レコード芸術」の特選盤に選ばれる。

2005年度 文化庁芸術祭音楽部門 大賞

2013年度 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門 本賞

2013年度 レコード・アカデミー賞 器楽曲部門 『シャコンヌ』

東京藝術大学、同大学院修了。吉田見知子、田村宏両氏に師事。



ピアノ 小山 実稚恵

Michie Koyama, pianist

©ND CHOW

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。その後「広島交響楽団」と改称し、1972年のプロ改組以来、国際平和文化都市「広島」を本拠地とする中、四国唯一の常設プロオーケストラとして活躍の場を拡げている。初代常任指揮者の井上一清(現・名誉創立指揮者)に継ぎ、1984年に日本音楽界の重鎮であった渡邊暁雄が音楽監督・常任指揮者に就任。渡邊暁雄の就任は楽団の根幹を確かなものとし、その後、高関健、田中良和、十束尚宏

の各氏が音楽監督を歴任、その精神を受け継いだ。1998年に秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務め、広響を全国有数のオーケストラに育て上げた手腕は高く評価されている。海外公演として、ウィーン、ブラハ、フランス(ルーアン、ル・アーブル)、ロシア(サンクトペテルブルク)、韓国(ソウル、プサン、テグ)など、各地で平和と希望のメッセージを発信し続けている。

現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期や「秋山和慶のディスカバー・シリーズ」をはじめ、移動音楽教室、「マイタウンオーケストラ広響」、「音楽の花束」名曲シリーズを行っている。他に、各種依頼公演、小編成によるアンサンブルを含むと年間約150回に及ぶ公演を行っている。2001年度から文化庁の助成を受け、我が国の芸術水準向上と地域の文化を牽引する芸術団体として、今後一層の活躍を期待されている。「P3 HIROSHIMA」として地元プロ団体、広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行い「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

これまでに「広島市民賞」「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」を受賞。

会場: 広島文化学園HBGホール(広島市文化交流会館)

〒730-8787 広島市中区加古町3-3 TEL:082-243-8881

アクセス

バス: JR広島駅 南口Aホーム3番のりば 広島バス 24番 吉島線で25分 「加古町」下車すぐ
路面電車: 広島電鉄江波線「舟入町」電停より徒歩5分/広島電鉄宇品線「市役所前」電停より徒歩12分

主催=もみじ銀行・中国新聞社 お問い合わせ=もみじ銀行広報室 TEL:082-241-3043

